

Ⅱ－３緩和ケアアドバイザー養成研修

Ⅱ－３－１）緩和ケアアドバイザー養成研修

1. 目 的 医療施設や地域において、積極的に緩和ケアを推進していくうえで、看護の中心的役割を担う専門性の高い看護者を養成する。
2. 目 標 (1) 誰もが一人の人間として、その人らしく、心豊かな生を全うできるための、質の高い看護を提供できるように学習する。
(2) 緩和ケアの実際を学ぶと共に、ケアに取り組むための能力を養い、実践に活かすことができる。
(3) 看護職として人生の終焉を支えるために必要な知識・技術を学ぶ。
3. 開催期間 平成 30 年 8 月 21 日（火）～平成 31 年 3 月 1 日（金）
(1) 講義・演習 平成 30 年 8 月 21 日～
平成 30 年 10 月 16 日の間の 11 日間
平成 31 年 3 月 1 日（金） まとめ
(2) 実地研修
①がんサロン訪問 平成 30 年 9 月～ 11 月間の 0.5 日程度
②県内の訪問看護ステーション見学 平成 30 年 11 月～ 12 月の 1 日
③県内外の緩和ケア病棟見学 平成 31 年 1 月～ 2 月上旬の間の 2 日
4. 受講資格 実務経験 5 年以上の看護職で、近い将来緩和ケアに携わりたいと希望し指導的役割を発揮できる者。
5. 修 了 証 全日程修了者に修了証明書を発行する。
＊緩和ケアアドバイザー養成研修会修了証
＊ E L N E C－J エンドユーザー向け研修修了証
6. 募集人員 30 名
7. 受 講 料 島根県看護協会 会員 25,000 円 ・ 非会員 50,000 円
公開講座 会員 3,000 円 / 1 日 ・ 非会員 6,000 / 1 日
8. 申込方法 ・ 受講申込書（申込書－3）に必要事項を全て記入の上郵送ください。
施設でまとめて申込み場合は、申込書－1 もつけてください。
施設に所属しない個人の方は、申込書－1 は不要です。
・ 公開講座のお申込は、申込書－1 に必要事項記入の上ご送付ください。
9. 申込期間 平成 30 年 6 月 1 日～ 6 月 20 日
10. 申 込 先 公益社団法人 島根県看護協会 〒690-0049 松江市袖師町 7－11

平成 30 年度緩和ケアアドバイザー養成研修会日程

◎研修時間 9：30～16：00

開催月日	研修科目	ELNEC	ねらい	内容	時間数	講師名	備考
8/21(火)	開講式 オリエンテーション		・オリエンテーション	・挨拶 ・オリエンテーション	1	島根県看護協会 会長 秦 美恵子	
	島根の緩和ケアの 動向		緩和ケアの現状と今後の展 望について理解する。	・島根のがん医療 ・島根県のがんおよび緩和ケ ア対策の現状と今後の展望	1	島根県健康福祉部 健康推進課	
	緩和ケア病棟の紹介		・緩和ケア病棟における看 護ケアや活動を知る	・県内の緩和ケア病棟の紹介 ・研修生との交流（質疑・応 答など）	0.5	松江市立病院 吉本 歩	
	患者・家族の声を 聴く		がんと共に生きる患者と家 族のニーズと活動の実際を 知る	・がんサロンの意義と活動 ・がん患者家族から話を聴く	1.5	島根県立大学 平野 文子 患者会サロン関係者	
	訪問看護の現状と 紹介		訪問看護ステーションの活 動を知る	・島根県の訪問看護ステーシ ョンの現状	1	訪問看護ステーション せきせい 山田 理絵	
8/22(水)	EOLにおける看護	M1	・緩和・EOL看護の基本を学ぶ		1	島根県立中央病院 小松 歩美 浜田医療センター 竹元 千恵	
	痛みのマネジメント	M2	・がん患者の疼痛マネジメントに関する具体的な理論と方 略を学ぶ。 (疼痛のメカニズム、疼痛アセスメント、がん性疼痛 緩和のためのケアなど)		1.5		
	症状マネジメント	M3	・がん患者の症状マネジメントに関する具体的な理論と方 略を学ぶ。 (呼吸器症状や消化器症状などについてのアセスメント、 症状緩和のためのケアなど)		1.5		
	事例検討	M2・3	演 習		1.5		
8/25(土)	EOLにおける倫理 的問題	M4	EOLにおける倫理的ジレンマと対応を学ぶ ・生命の尊厳と生命倫理 ・倫理的問題への対応 ・意思決定への支援		5.5	京都大学大学院医 学研究科 竹之内沙弥香	
9/9(日)	放射線治療を受け る患者・家族への 援助		放射線治療を受ける患者と 家族に、適切な支援をする ために、放射線治療と看護 の実際を学ぶ。	・放射線治療とは ・照射方法種類と効果 ・有害事象出現のメカニズムと その対応	5.5	兵庫県立粒子線医 療センター 藤本 美生	
9/10(月)	がん患者の精神・ 心理		がんが心に及ぼす影響を理 解しアプローチの実際(精 神症状のマネジメント、コ ミュニケーションなど)に ついて学ぶ。	・精神腫瘍学とは ・がん患者に発生頻度の高い 精神疾患とその対応 ・スピリチュアルペインにつ いて ・がん医療に必要なコミュニ ケーションスキル	5.5	広島大学 教授 岡村 仁	
9/11(火)	EOLにおける文化 への配慮	M5	・エンド・オブ・ライフ・ケアに影響を及ぼす文化的側面 について概観する ・患者や家族、および医療スタッフ間のコミュニケーション を図り、文化に配慮したケアを行うために必要なアセ スメントについて学ぶ		1.5	島根大学医学部附 属病院 三吉由美子	
	(がん患者との) コ ミュニケーション 研修：患者の 意思決定を支える ために	M6	患者や家族と良好な人間関係を築き、患者や家族の状況に 応じて、適切なコミュニケーションを図るためのスキル を学ぶ		4	島根県立大学 平野 文子	
9/19(水)	9：30～12：30 地域包括ケアシス テム		在宅ケアに関する施策や社 会資源を理解し、地域包括 ケアシステムの構築につ いて学ぶ	・在宅ケアに関する保険医療 福祉施策 ・地域の社会資源の種類と活用 ・地域包括ケアシステムの構築	3	松江保健所 村下 伯	
	オリエンテーション 個別相談				2		

開催月日	研修科目	ELNEC	ねらい	内容	時間数	講師名	備考
9/20(木)	喪失・悲嘆・死別	M7	・喪失や死別の伴う心理的反応を理解し、サポートの方法を学ぶ ・家族の悲嘆について学ぶとともに、看護師自身の悲嘆についても考える		1	松江市立病院 吉本 歩	
	臨死期のケア	M8	・死を迎える患者とその家族へ、最善のケアを提供するために必要な事柄を学ぶ		1.5		
	13:00～15:00 高齢者看護における緩和ケア	M9	高齢者（認知症含む）の尊厳ある生を支援するために、老人看護の視点から緩和ケアを学ぶ。	・高齢者の終末期ケアにおける諸問題と支援（認知症を含む） ・高齢者支援と社会資源	2	松江赤十字病院 内部 孝子	
	15:15～16:15 質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成	M10	質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを達成するために、一人ひとりの看護師が臨床の中で果たす役割を理解する		1	島根県立中央病院 小松 歩美	
10/14(日)	がん看護に活かせる看護理論		がん看護に活かせる看護理論について理解を深め、実践に活かす	・がん患者の心理的理解とケアに活用できる看護理論 ・がんおよび終末期患者の心理的プロセスの理解とケア	5.5	聖路加国際大学教育センター 中村めぐみ	公開
10/15(月)	小児がん患者と家族への支援体制の現状と課題		小児がんの特徴を理解し、患者及び家族への支援を考える	・小児がんの特徴と種類 ・島根県における患者・家族への支援体制の現状と課題 ・小さな子供を持つがん患者さんへのサポート	5.5	島根大学医学部看護学科 矢田 昭子	公開 別館
10/16(火)	9:30～12:00 在宅への移行時の支援とがん医療に活用できる社会資源		経済的負担の多いがん治療に適応する社会資源について理解し、患者支援に役立てる。	・在宅緩和ケア移行時の支援：退院調整と支援 ・在宅で活用できる社会資源と手続きなど	2.5	島根県立中央病院 萬代由喜子	別館
	13:00～16:00 地域における「在宅緩和ケア」の現状と課題		地域における「在宅緩和ケア」の現状を理解し、地域に必要な緩和ケア支援と自己の課題を考える。	・地域緩和ケアの現状 ・在宅緩和ケアに必要な退院支援 ・在宅ケアの準備と調整・地域連携 ・在宅における緩和ケアの実践	3.0	訪問看護ステーション せきせい 山田 理絵	
9月～11月	実地研修： ・がんサロン見学 ・患者会活動への参加		がんと共に生きる患者と家族のニーズと活動の実際を知る				
11月～12月	実地研修 ・在宅ケア：1日		在宅ケアの実際を見学し地域との連携を学び、今後の実践に活かす				
平成31年 1月～2月	実地研修：2日間 (緩和ケア病棟見学実習)		緩和ケア施設におけるケアの実際を見学し、今後の実践に活かす。				
3/1(金)	・研修のまとめ ・修了式		研修の目的・目標の達成内容を整理し、緩和ケアアドバイザーとしての自己の課題を明確にし、今後の実践に役立てる。		5.5	緩和ケア推進委員会	

<フォローアップ研修>

開催月日	研修科目	ねらい	時間数	講師名	備考
10/13(土)	フォローアップ研修 (対象:平成29年度修了者・フォローアップ研修未受講者)	緩和ケアアドバイザーとして緩和ケアの質の向上を図り施設や地域で中心的役割を継続的に担うために必要な知識・技術を養う	5.5	松江市立病院 吉本 歩 島根県立大学 平野 文子	